

2 - 3 江刺地球潮汐観測施設における地殻変動の連続観測

Observations of Crustal Movements at the Esashi Earth Tides Station

緯度観測所

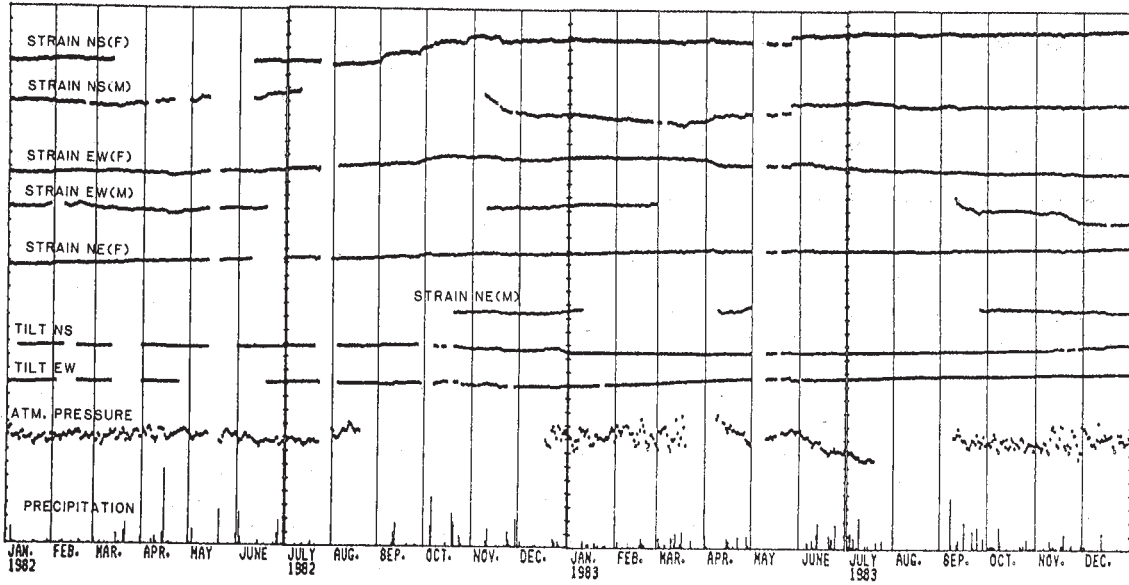
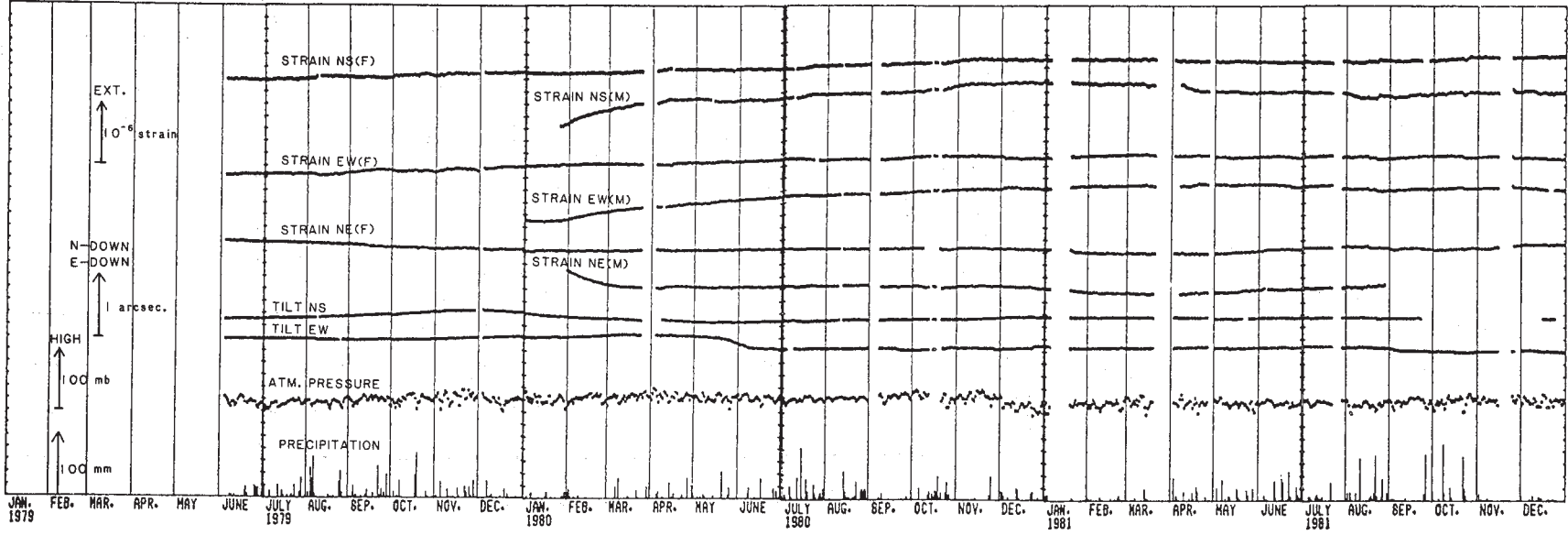
International Latitude Observatory of Mizusawa

前報（第31巻）に引き続き江刺地球潮汐観測施設における歪，傾斜の観測結果を報告する。

第1図は観測開始の1979年6月以来1983年12月までの歪，傾斜の経年変化，気圧，降水量の変化を示したものである。1982年9～11月の歪のNS（F）成分の乱れは器械的ドリフト異常によるものである。

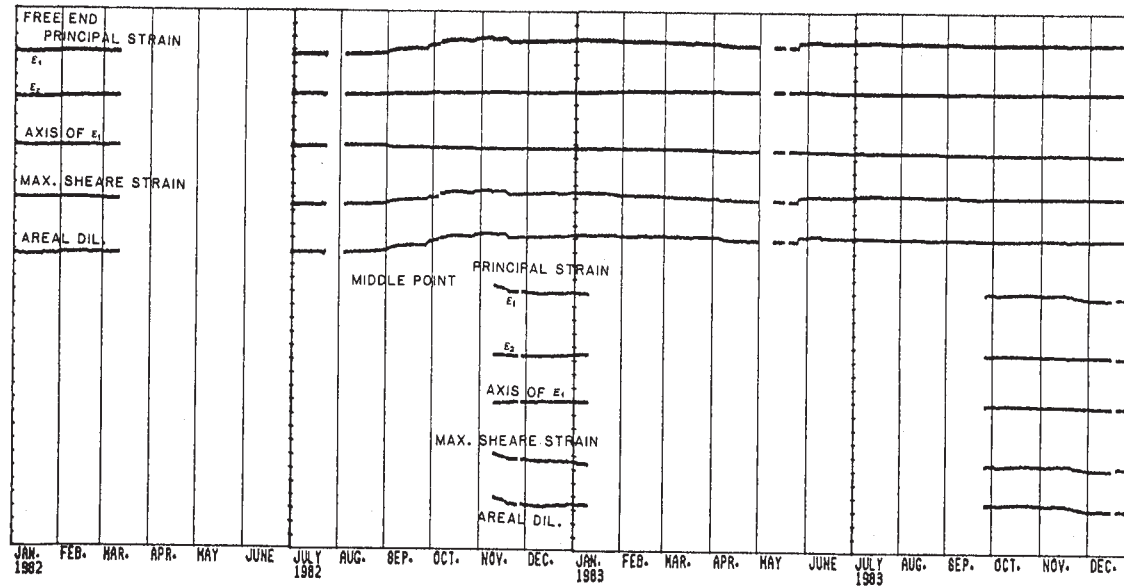
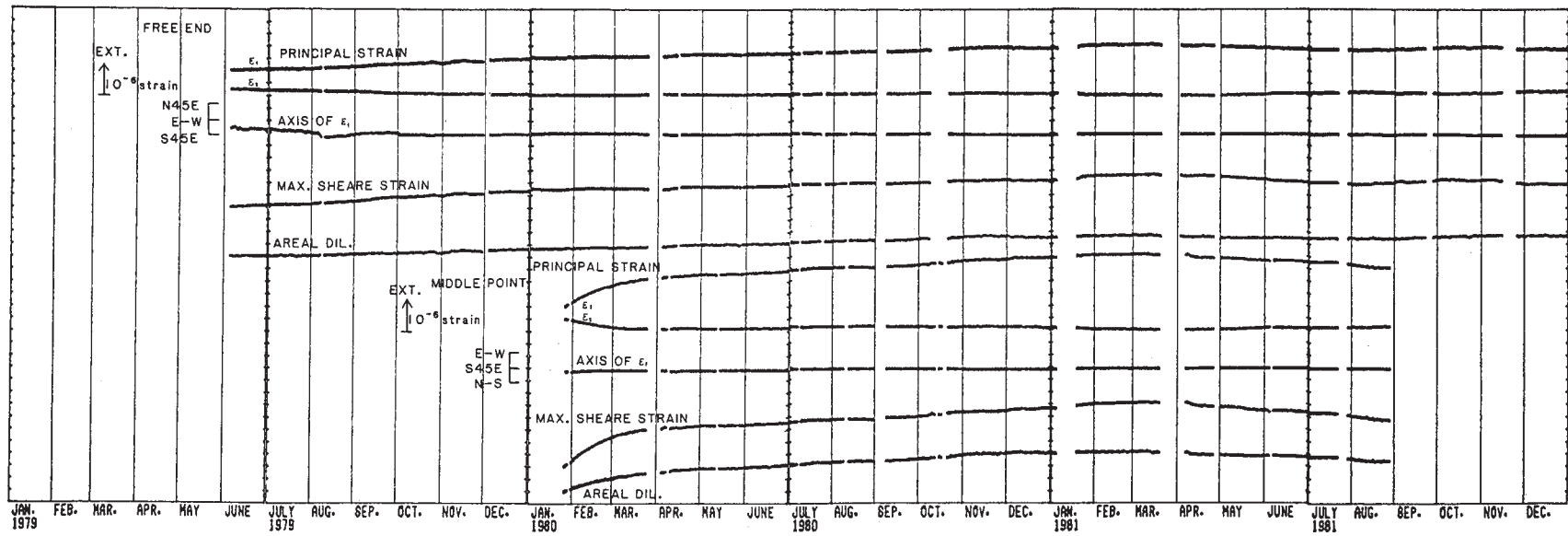
第2図には，主歪，最大剪断歪および面積歪を，第3図には地盤傾斜ベクトルを示す。今回特に注意すべき点は次の通りである。

1. スケールの表示を見やすい数値にした。
2. 水管傾斜計の感度を再検討した結果若干の変更があり，1982年以降の傾斜が前回とやや異なっている。
3. 傾斜ベクトル図において，1983年1月から5月まで東下がり転じて約 $0.''04$ 下がりそれより北東から北北東下がり比較的急速な傾斜（ $0.''02$ ／月）を示している。この原因は今のところ不明である。

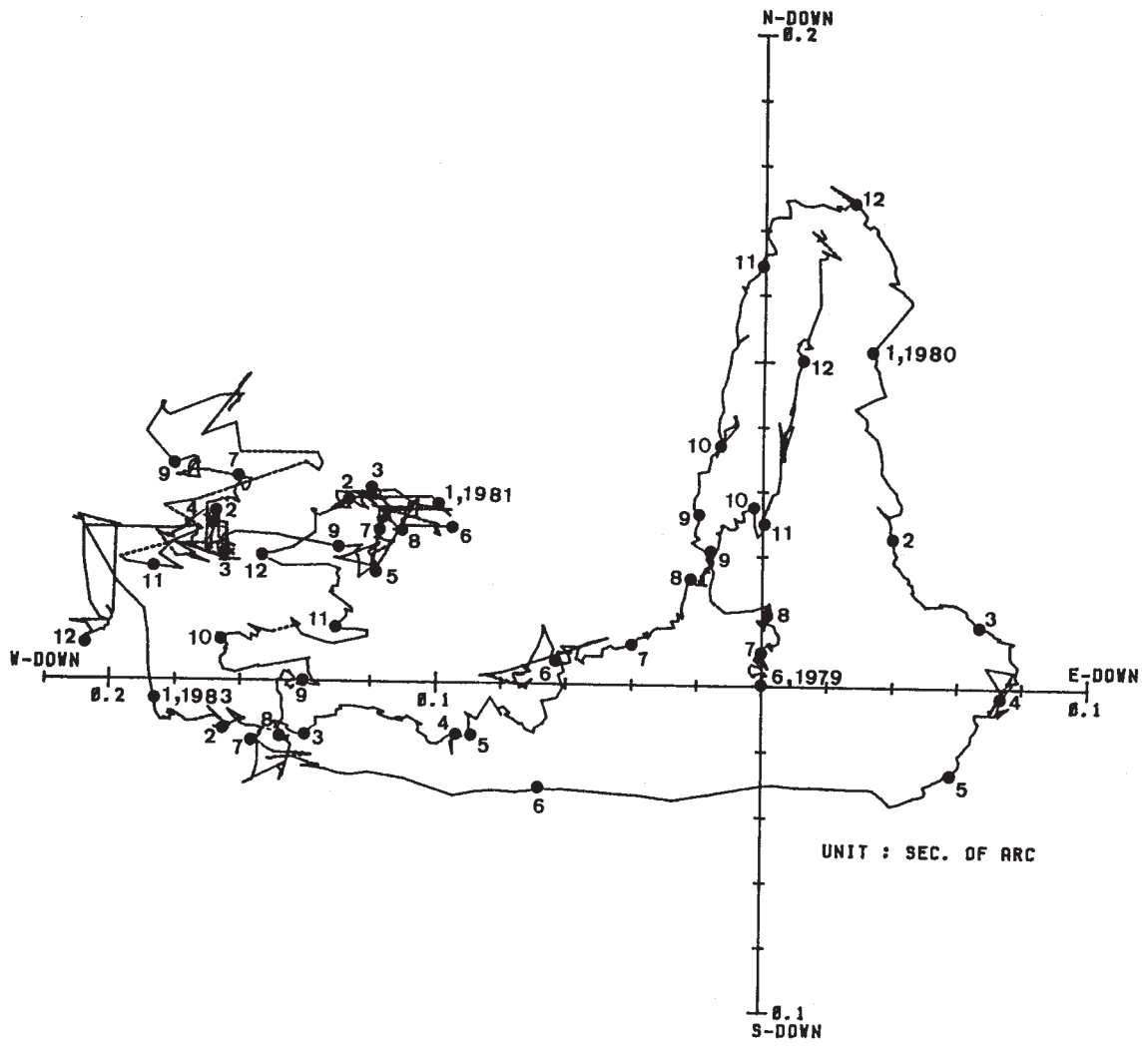


第1図 江刺地球潮汐観測施設における地盤の歪および傾斜の日平均値

Fig. 1 Daily Values of ground strains and tilts at the Esashi Earth Tides Station.



第2図 主歪, 最大剪断歪および面積歪
 Fig. 2 Derived principal strain, maximum shear strain and areal dilatation.



第3図 地盤傾斜ベクトル図

Fig. 3 Vector diagram of ground tilts.